

【授業科目名】法と経済 Law and Economy

【学年・学科】4年 総合工学システム学科

【授業期間】通年

【授業形態】講義

【担当教員】富田 慶, 山崎 茜

【授業概要】

《前期法学》 本授業では、法学の基礎を学び、実社会において直面する法律問題に関して知識を深め、法の機能や役割、基本的な仕組みを理解する。

《後期経済学》 経済主体としての消費者・生産者それぞれの行動を理解し、市場における価格の果たす役割について学ぶ。また、経済を一国全体で見たときに、市場が相互に影響を与え合うことを学ぶ。

【単位数】2単位 必履修

【達成目標】A-1

【分野】人文・社会系 (一般)

## 【授業の進め方】

《前期法学》 配布したプリントに即して、適宜質問しながら授業を進める。その他、必要に応じて板書する。

《後期経済学》 スライド、板書、講義資料を用いて説明する。

## 【科目の達成目標】

- 〔前期法学〕 法学の基礎的知識を修得すること、法学の基礎を体系的に修得すること、法的な問題についての的確に対処できる法的思考能力を修得すること。
- 〔後期経済学〕 経済の基礎知識を理解する。主にミクロ経済学、マクロ経済学を理解する。市場の効率性を理解した上で、市場の失敗、経済政策、インフレ、失業などの経済的問題について学習する。

## 【授業の内容】

項目	時間	授業内容
ガイダンス	2	シラバスの説明、受講上の注意、法を学ぶ意味・学び方
法学の基礎	2	法の分類、条文解釈・適用
訴訟手続	2	民事訴訟、刑事訴訟
裁判に関わる人々	2	裁判官・検察官・弁護士等、裁判員制度
憲法	6	日本国憲法とは、人権論、統治機構論
(中間試験)	2	
刑法	4	犯罪の成立、刑罰論
民法	8	債権、物権、担保物権、権利能力・行為能力、親族、相続
フィードバック	2	試験の答案返却、解説
ミクロ・マクロ経済学と		
市場の均衡	2	経済学の全体像、需要・供給
需要曲線と弾力性	3	代替財・補完財、弾力性と収入の関係
企業行動と供給曲線	4	総費用曲線、最適生産量、限界費用曲線と価格
市場均衡と余剰	3	自由貿易、課税における余剰分析、大国同士の貿易
独占市場	3	独占市場の均衡、死荷重
ゲーム理論	3	囚人のジレンマ、動学ゲーム、協調の失敗、クールノー競争
企業のファイナンス	1	プロジェクトへの投資、利率、現在価値、純現在価値
国民所得と物価	3	GDP、名目GDPと実質GDP、物価指数
実質利率、労働市場	3	実質と名目について、賃金、失業、利率
経済成長理論	2	経済の成長過程の分析
政策とGDP	1	財政政策と金融政策
フィードバック	2	試験の答案返却、解説

## 【授業時間外の学習】

《法学》 事前学習：普段から法律に関するニュースや新聞等に目を通すこと。事後学習：授業を振り返りながら、プリント記載の演習問題に取り組むこと。

《経済学》 日々の生活には多くの経済問題があります。新聞等の経済報道を調べて下さい。

## 【履修上の注意点】

《法学》 配布したプリントに必要なだと思うことを書き込みながら受講すること。

《経済学》 授業では、数学の知識（主に微分）を多く利用します。数式の意味を理解することが重要です。

## 【成績評価の方法】

- 《前期法学》 中間試験30%、前期末試験70%を総合的に評価する。
- 《経済学》 定期試験70%、宿題3回の平常点30%を総合して評価する。
- 前期の法学と後期の経済学との平均点数を年間成績として評価する。
- 100点法により評価し、60点以上を合格とする。

## 【関連科目】

【教科書等】 プリントを配付する（法学、経済学とも）。

【参考書】 《前期法学》 『有斐閣法律用語辞典 第5版』（有斐閣、2020）、『法律学小辞典 第5版』（有斐閣、2016）、『ポケット六法 令和4年版』（有斐閣、2021）。